

活動した内容のご報告（1～3月）

政策要望

市長からの要望回答

令和3年度予算に向けて市長に提出した政策要望について回答を受け取りました。福祉・医療・教育・安全・環境などの視点でサービス向上をを目的とした、議員活動の中で重要な取り組みです。要望に対しては前向きな回答を受けましたので今後の取り組みを注視していきます。



意見交換の中で、私は入院・不登校に対するオンライン授業と復学支援、また庁内のデジタル化について市民サービス向上と同時にコスト管理の必要性などについて想いを伝えました。



政策要望の内容は左のQRコード、または全トヨタ労連HP「政策要望政策推進議員連絡会」より豊田市を選択して下さい。

暮らしの相談

ガードレールの修繕

篠原工業団地付近の市道について、ガードレールの錆などの劣化や草の繁茂が激しいとの相談を受け、修繕を調整しました。広範囲で劣化していたため、痛みの激しい箇所を選定し、優先的に対応しました。

お気軽にご相談ください！









皆様の声を市政に！

鈴木 たかひで

Vol.23



やる気！元気！鈴木！

初心と感謝！新たな年度も愚直に取り組めます！！

平素より格別のご支援を頂き、心よりお礼申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルスの脅威と戦う我慢の一年となりました。ワクチン接種の方向性が見えるなど、明るい兆しはみえつつも、依然として猛威を振るうコロナ禍で今、行政にもとめられることは苦しい影響を被る方々への支援に加え、コロナを契機とした未来志向の新しい生活スタイルに適応する行政への変革です。

私の議員活動も2期目の折り返し地点となりました。今一度気を引き締め、皆様の代弁者として教育・福祉・医療の充実や暮らしを支える市内の経済活動を取り巻く環境整備の推進に全力で取り組んでまいります。

どうか引き続きのご支援をお願い申し上げる共に、何よりも皆様が心身の健康第一で過ごされますことをご祈念いたします。

◆鈴木たかひでへ皆様のご意見・ご要望・困りごとをお寄せください。

事務所：豊田鉄工労働組合内

住所：豊田市細谷町4丁目50番地 Tel/Fax:0565-28-8437

自宅：豊田市西広瀬町登り256番地 Tel:090-3453-5316

facebook

鈴木たかひで





3月定例議会への取り組み（発言した質問・意見・一般質問など）

3月定例議会では一般質問のほか、会派代表として令和3年度予算に対する意見を作成し、予算決済委員会に登壇するなど精力的に取り組みました。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の市内経済への影響等により、厳しい予算編成となりましたが、必要な予算措置を図りつつ、ニューノーマル時代の適応にむけた数々の施策が講じられたと評価しています。

子育て・教育

小学1年生の少人数学級

小学1年生の学級編成を一クラス最大32人から30人に見直し、効果検証をします！（令和3年度は8校で試行）

発言した意見

将来を担う子どもたちに対する学習環境の充実は未来への重要な投資であると評価。今回の学級編成の試行を契機に一層のきめ細かな教育が強化されることで、児童が直面する「小1の壁」などからの不安軽減や健やかに育ちにつながることを期待して賛成。



交通安全

ヘルメットの購入補助

自転車用ヘルメットの購入費補助制度を創設します！

発言した意見

自転車用ヘルメットは愛知県の事業として児童、生徒と保護者、及び高齢者を限定対象に新設された補助事業であるが、豊田市は独自事業で全世代を上乗せした点を評価する。補助制度の存在を市民にしっかり周知し、また着用促進にむけた取り組みを要望するとともに、本事業が、課題となっている自転車事故の削減につながることに期待して賛成。



* 補助金額上限 2 千円

高齢者福祉

介護予防事業の実施

SIB(ソーシャルインパクトボンド)を活用した介護予防を実施します！

発言した意見

税額控除ができる企業版ふるさと納税を活用して、大規模な資金を確保しつつ、事業効果の高い介護予防を図る取り組みを評価。民間事業者の知見と経験を活用し、魅力的な介護予防プログラムを通じてコロナ禍で外出を控える高齢者の社会参加機会を増やし、生きがいと健康増進につながるものとして賛成。



* SIBとは 民間の活力を社会的課題の解決に活用するため、事業を実施するための資金を民間から集め、事業の成果に応じた成果報酬を後払いする仕組み。財政リスクの軽減と民間の創意工夫により生産性の高いサービスにつながりやすいのが特徴（豊田市は5億円の寄付を頂き、介護予防事業を展開していきます。）

産業支援

デジタル機器購入補助

製造業、建設業、運輸業の中小企業を対象にデジタル機器の導入費用やソフトウェア導入等の経費を補助します！

Q. 質問

デジタル化推進にむけた事業内容とめざす姿は

A. 答弁

新型コロナウイルス感染症への対応としてテレワークの活用が注目され、DX（デジタルトランスフォーメーション）の機運が高まっている。また、DXによる生産性の向上やビジネス環境の変化への対応など、様々な効果が期待できることから支援により促進を図る。

発言した意見

デジタル変革や競争激化により、市内企業を取り巻くビジネス環境は大きく変化している。本事業が活発な企業活動の後押しとなり、本市の強みである豊かな雇用と賑わいの創出につながることを期待して賛成。



一般質問

内容の一部紹介

「環境変化に適応する防災対策」

をタイトルに一般質問に登壇しました！

激甚化、頻発化する自然災害に加えて、コロナ禍での感染防止策への対応や、時代とともに変化する住民の生活スタイルや意識の変化など、災害対策を取り巻く環境も日々、変化しています。今回、私の一般質問では災害を取り巻く環境変化の渦中における防災対策の適応を目的に質問と提言を行いました。

Q. 質問

避難所外避難はある前提で支援策を策定すべきだが、市の考えは

A. 答弁

避難所滞在者と同様に必要な情報提供や支援物資の配給などの物的支援を行う。避難所外避難者への支援における最大の課題は、安否確認であると考えている。本来であれば、一旦避難所にお越しいただき避難者名簿を記入いただくことで所在の把握をすることとしているが、コロナ禍では避難所に来ることが躊躇される場合も見込まれるため、地域にご協力いただきながら、安否確認や要望のとりまとめを行っていただくことを想定している。

Q. 質問

基準の見直しにより開設できない緊急避難所が発生したが市の支援は

A. 答弁

水防法の改正に伴う基準見直しにより市内7ヶ所のすべて、また10ヶ所の一部で避難場所として開設できないことが判明した。今後は水害時の避難想定数の推計等を加味した適切な緊急避難場所の適切な配置の検討のほか、間仕切り等を活用した教室スペースの有効利用や、協定企業や公共施設の駐車場に車中泊避難のための一時車両退避場所の設置を進めるなど、収容人数の確保につとめる。

Q. 質問

土砂災害危険箇所への対応における課題と市の取り組みは

A. 答弁

危険箇所への対応は愛知県の事業である急傾斜地崩壊対策事業があげられるが、事業の採択を受けるには民家の存在や傾斜度や傾斜の高さなどの条件があり、条件に一致しない危険箇所への対応に課題があった。令和3年度より愛知県が補助金を交付する制度が策定される見込みのため、市が事業主体となり補助金を活用しながら必要な対策を推進していく。



質問の一覧

1. 「環境変化に適応する防災対策」
（1）避難行動につなげる取り組み
① コロナ禍をうけて対応した防災対策
② 実行性を高めるマイタイムラインの作成支援の方策
③ 避難所外避難における支援
④ 警戒レベル変更の概要と取り組み

（2）防災におけるハード整備
① 避難所収容人数の算定根拠と適正配置に対する取り組み
② 緊急避難場所の見直しによる影響と今後
③ 避難所における必要電力量と設備拡大
④ 土砂災害危険箇所に対する今後
⑤ 道路防災対策事業の取り組み状況

（3）防災人材への取り組み
① 住民主体の防災対策の強化
② コロナ禍による活動への影響と対応
③ 災害ボランティア確保の取り組み
④ 消防団員の負担軽減への取り組み
⑤ 意識調査の概要と見えた内容
⑥ 各種行事中止や縮小による影響と今後

お知らせ！（豊田上郷スマートICが開通しました）

豊田市と中日本高速道路株式会社が共同で事業を進めていた「東名高速道路 上郷サービスエリア（SA）」に接続する豊田上郷スマートインターチェンジ（IC）が3月27日に開通しました。開通により以下の効果が期待できます。

自動車関連を中心とする企業活動・物流の効率化

効果① 輸送時間の短縮

効果② 輸送経路の効率化による物流コストの削減

効果③ 隣接ICの交通分散



高速道路の利便性向上による救急医療体制の充実

効果① 搬送時間短縮による救命率の向上
（第3次救急医療施設である豊田厚生病院までの搬送時間が短縮）

